

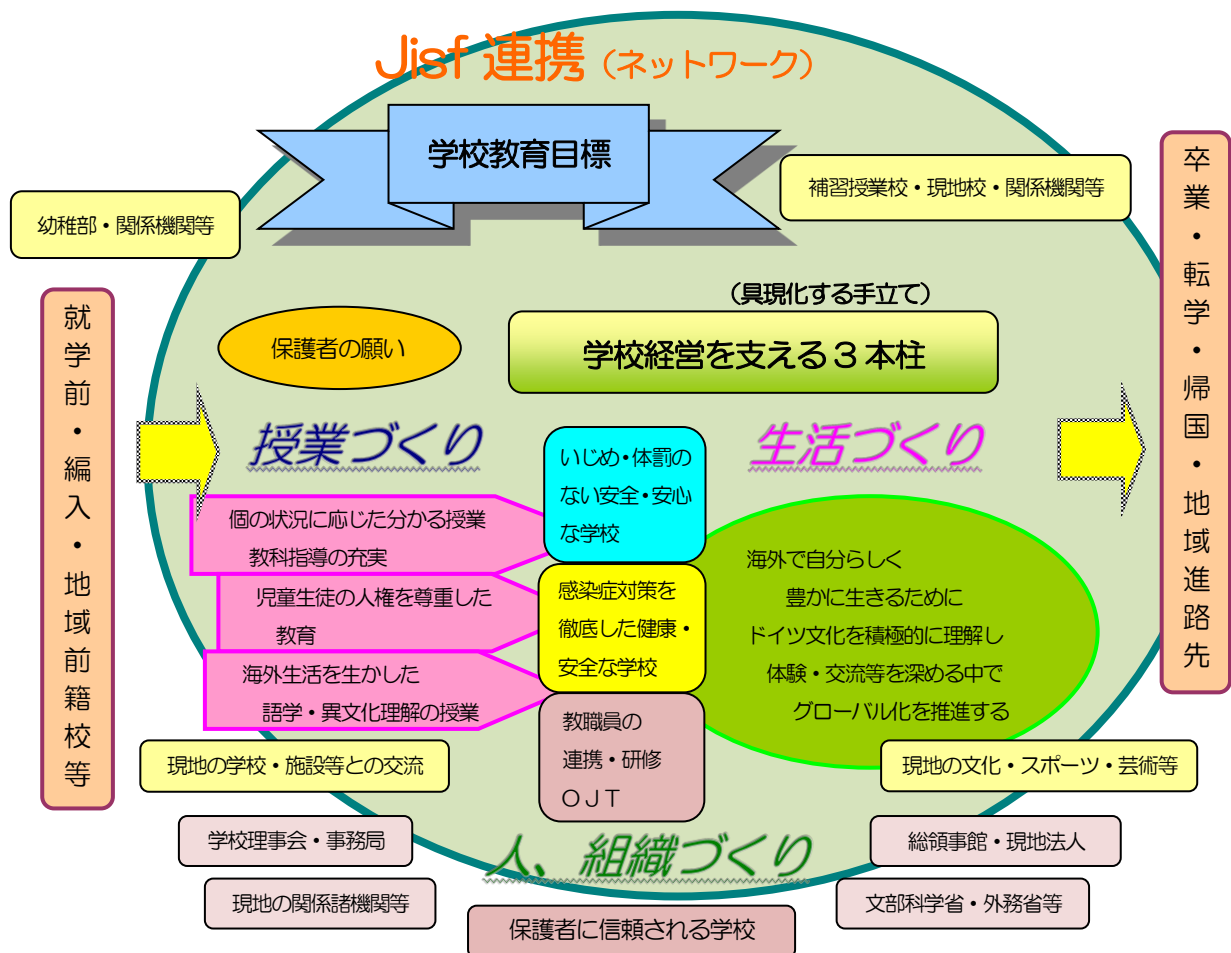
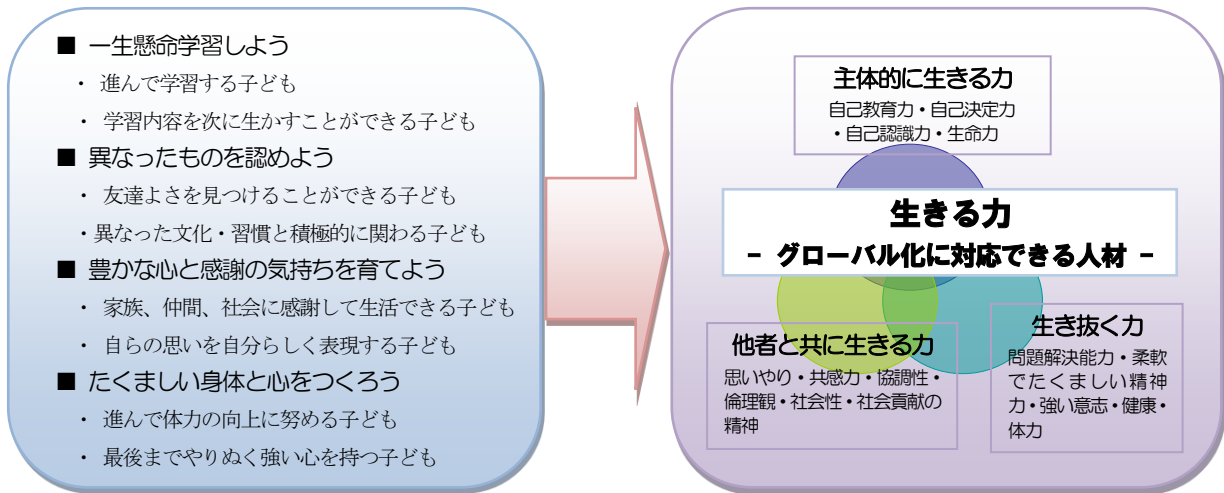
2022年度 フランクフルト日本人国際学校経営方針

1 本校の教育指針

本校に学ぶ子どもたちは、フランクフルト市及びその近郊に在住し、成長の一時期を外国の文化と関わり合いながら生活する得難い体験をしている。そして、その子どもたちの大部分は数年後、日本に帰国することを予定している。

したがって、本校は日本の教育理念を基盤として、日本人としての自覚を育み、外国での数多くの生活体験を生かしながら、世界のグローバル化の進展に対応できる人材の育成をめざす。

2 学校教育目標



3 本年度の方針

これまで本校が営々と築いてきた教育指針と伝統を尊重しつつ、「不易と流行」の観点から、日本国内で求められている学力向上及び現地理解・国際理解教育を中心とする、より質の高い教育活動を創造する1年とする。

■確かな学力を身につける学校 ■ドイツの文化や学校と積極的に関わる学校 ■保護者に信頼される学校

4 本年度の重点

- (1) 学力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進
 - ・ 義務教育9か年を見通した系統性、継続性のある教育活動の推進
 - ・ 小学部における教科担任制や小中学部の乗り入れ授業の充実、学習評価などの工夫
 - ・ 思いやりやコミュニケーション力、リーダーシップ等の社会性を育成する異学年交流の充実
- (2) 新学習指導要領の具現化
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの学習の充実
 - ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
 - ・ 言語能力の育成、理数教育、伝統や文化に関する教育の充実
- (3) 基礎基本を大切にし、個に応じた指導の充実
 - ・ 一人一人の実態や興味・関心に応じたきめ細かな指導
 - ・ 言語活動の充実、課題解決学習、体験学習等の充実
 - ・ 教材教具の工夫、ICTの効果的な活用
- (4) 本校の実態に合わせたグローバル化に対応した国際理解教育の充実
 - ・ 積極的な地域（貢献）活動等への参画
 - ・ 現地校児童生徒との交流の再開と活発化
 - ・ 現地校教職員との交流の再開
- (5) 教員の資質向上に資する研修の充実
 - ・ 研究授業の充実による指導力向上
 - ・ 現地理解研修の充実
 - ・ 外国語科（ドイツ語科、英語科）との連携の強化
- (6) 安全対策の強化
 - ・ 危機意識を高め、学校施設設備の安全対策、不審者対応訓練の強化
 - ・ 学校行事における警備、日常の児童生徒の安全指導、安全講話、自転車安全教室等の充実
 - ・ 新型コロナ感染予防の徹底

5 本校の求める姿

- (1) 学校像
 - ・ 豊かな愛情につつまれる学校
 - ・ 次代を担う子どもたちのために、質の高い教育を推進する学校
 - ・ 保護者の信頼を集める学校
- (2) 児童生徒像
 - ・ 「よく見、よく聞き、よく考えて」自分らしく表現ができる児童生徒
 - ・ ドイツの文化を認め、日本の文化を大切にしながら、事象に対して積極的に関わろうとする児童生徒
 - ・ 学習に積極的に取り組む児童生徒
- (3) 教職員像
 - ・ 全員が経営的視点に立ち、学校教育目標の具現化をめざす教職員
 - ・ 子ども一人一人の人格を尊重し、自己肯定感を高める指導ができる教職員
 - ・ 日常生活の中でいつでも起こりうるいじめを見逃さず「いじめは絶対に許さない姿勢」を示すことのできる教職員
 - ・ 保護者、児童生徒、同僚誰に対しても常に謙虚な姿勢で関わることができる教職員
 - ・ 相互理解を深め組織的に機能する教職員
 - ・ プラスワンの考え方で仕事の隙間をなくす教職員